

## 愛媛県西条市におけるシロチチブの追加記録

清水孝昭<sup>1</sup>・渡邊昭生<sup>1</sup><sup>1</sup> 愛媛県農林水産研究所水産研究センター写真1 *Tridentiger nudicervicus* シロチチブ (TKPM-P 24104)

## 種の記録

Gobiidae ハゼ科

*Tridentiger nudicervicus* Tomiyama, 1934

シロチチブ (写真 1)

標本 徳島県立博物館魚類標本 (TKPM-P) 24104.

採集年月日: 2016年4月18日. 採集場所: 愛媛県西条市高須 新川沖. 採集方法: 桁曳網. 標準体長 24.4mm.

## 種の特徴

体は側扁し、長い。口は大きく、目の後縁に達する。尾鰭後縁はまるい。頭部にひげはない。吻端から鰓蓋上部を通り尾柄下部に達する暗色帯があり、胸鰭より後部では破線状となる。頬部に一列の暗色帯がある。尾柄上部に一暗色斑がある。背鰭 7 棘 10 軟条、臀鰭 1 棘 8 軟条、胸鰭 19 軟条。横列鱗数 40、背鰭前方鱗 0。

## 備考

標本個体の上記特徴は明仁ほか(2013)のシロチチブに一致したため、本種と同定した。本種は瀬戸内海、有明海、朝鮮半島西岸・南岸、台湾に分布する(明仁ほか, 2013)。愛媛県では瀬戸内海の燧灘に流入する西条市新川沖で Inui et al.(2014)により初めて確認され、これ以降本地点以外での記録はない。本報告は同地点での二例目の報告となる。愛媛県水産

研究センターの試験操業で、トビヌメリ *Repomucenus beniteguri* (Jordan and Snyder), ヒメハゼ *Favonigobius gymnauchen* (Bleeker), マコガレイ *Pseudopleuronectes yokohamae* (Günther), イシガレイ *Platichthys bicoloratus* (Basilewsky), ササウシノシタ *Heteromycteris japonica* (Temminck and Schlegel) などとともに採集された。採集地点の底質は細砂から中砂、採集時の底層水温は 14.2°C、底層塩分は 32.5psu であった。

## 引用文献

明仁・坂本勝一・池田祐二・藍澤正宏. 2013. ハゼ亜目. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索—全種の同定—, 第三版. 東海大学出版会, 秦野. 1347–1608, 2109–2211.  
Inui R, Takemura S, Koyama A, Onikura N, Kamada M. 2014. Potential distribution of *Tridentiger barbatus* (Günther 1861) and *Tridentiger nudicervicus* (Tomiyama 1934) in the Seto Inland Sea, western Japan. *Ichthyological Research*, 61: 83–89.

(2023年11月17日受付, 2023年11月18日公開)

連絡先: 清水孝昭 (e-mail: simizu-t@sky.hi-ho.ne.jp)  
(Takaaki Shimizu, Akio Watanabe. 2023. An additional record of *Tridentiger nudicervicus* (Gobiidae) from Saijyo City, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 23020)